

青人草

草取此炉

和王曰く



へへもののへし
二二物の二し大
ハン物のソ・二二ハ
パン物の祖・十ハ二話
万物の祖・東和二話



東和

東和東・禾・ロ

東十ロ十小

二ワとこ

庭床

禾ノ十ハ

ム

ロ二二三

くり

東和庭床ムくり

庭床起

庭床十起屋根の家

東和古民家庭床起



十井の色葉字

青人草

発行 づるばみ
郵便 四三八一〇〇八六
住所 磐田市見付二七八六
電話 〇五三八一三三〇二七三
F X 〇五三八一三一五〇〇三
電信 logos&nvb&biglobe&ne&scjp
編者 岩田修良
カナ ア@ ドレスドット

「鬼」を見つける



鬼しこ(和名)

シコ(棟)

鬼の「しこ」が

姿を変へて「シコ」として存在

しかし「角」が出てゐるから

みつけるのは 簡単だ



「鬼」を退治



鬼退治鬼たいじ

鬼代字

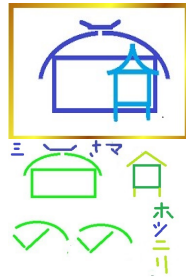
棟二三さ

マ

ツ



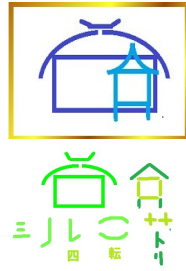
東和一話



ののさま
ほっこり

ののさま
ののさま
ほっこり

東和二話



草取
此炉・四ノ三

++
草

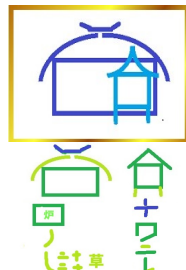
万物の祖



ののさま
ほっこり
草取此炉（四の三）

令和七年九月二日（十月十二日）

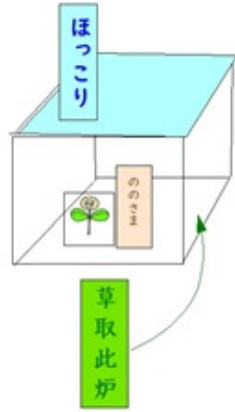
万物の祖の化身



草・東和二
草・ののさま
ほっこり

炉草の聲の修正

『草取此炉』



『続草取此炉』



四大の定義

四大 万物の構成要素

地・水・火・風



地面の『地』
雨水の『水』
発酵の『火』
大きな『風』

四大 大 四

二ノし ロノし

蓋の二二炉の二二

蓋のナイ炉の十

蓋の無い炉の草

四大 蓋の無い炉の草

「平和」の定義

平和 禾・ロー・しノ二

し大・二二ノ・四の二

四大・十ハの・四の二

四大・東和の・四の二

四大 蓋の無い炉の草

平和 蓋の無い炉の草（東和四の二）

炉草（ののさまほっこり）



「金」の定義

金 し二人ノ十

し大 の二二

四大 のこへ

四大 の聲

四大 蓋の無い炉の草

金 蓋の無い炉の草の聲



「医王」の定義

医王 || コ 転ノ・ハエ・十二

|| 此 炬の・くサ・十

|| 此 炬の・草・二二二二

|| 此 炬の・草・十八し二

|| 此 炬の・草・東和四二

|| 此 炬の・草・ののさま

ほっこり



へのへのもへじ

への
もへ

への
もへ

への
もへ

鬼 || しこ (和名)

|| も (合)

ののもへしし・じ

ののさま 二二二二・じ大

ののさま 十八こり・テ二ハ

ののさま ホこり・天二話

ののさま ほっこり・天二話



もさ
へマ

国旗の変化

ののさま || ののさま

|| 山山



ののさま

火っ樵り



→ →

どうやって

「禍の火種」を樵り摘むか？

「昔」の日の丸に戻すには

いや

「無火事（無禍事）」の日の丸を

復古させる最大のテーマであった

それは「火っ樵り」であった



ほっこり

鬼に気づかれぬやうに

史上最強の「禍津日神」



その子・赤子の青鬼



炎をよく見ると

周囲 赤色

中 橙色

中心 白色

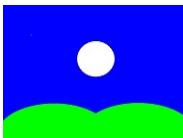
「ののさま」飛込んで

「火つ樵り」すると

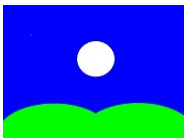
「ほっこり」となる

国旗三種

貫之私案

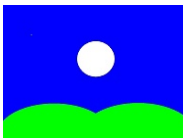


尊徳・芭蕉・南無派私案



好望大地

岩田私案



ののさま

ほっこり

草取此炉

人聲

造物主

人聲

造物主

造物主

造物主

造物主

「人」と「造物主」

人



ののさま

ほっこり

ののさま

造物主



じ

天二話

天二話

天二話

天二話

天二話

天二話

天二話

天二話

人聲 絵体↑実体

ほっこり

ののさま



平和勢力の「武器」

大砲 四大の「原始炉」

資材 大地の草

弾丸 言弾（ののさま ほっこり）

銃口 無禍事の日の丸

昔 日の丸



しかし 今

無知の強みを最大限に発揮する

そんな激しい匂のする政権が誕生した

何故か？

何故 平和の「言弾」があるのに

こんな時代遅れの政権が誕生したのか

答は 容易に想像できる

平和の「言弾」で

「悪党一掃」するために

「万物の祖」が

ここに「悪党を終結」させたのだ 屹度

さあ 皆さん 平和の言弾を

打って打って打ちまくりませう！

無知は強い

その山道 ちょっと危ない！

「えっ？」

聞いてゐる振りしてそのまま進む

その軍拡 ちょっと危ない！

「国民の命と暮らしを守る

何がいけないのですか？」

何を言っても

どんな史実を出しても

「命と暮らしを守る」お題目

そのワクチン ちょっと危ない！

「反ワクの馬鹿が何を言ふ」

どれだけ言っても

どれだけ制止しても

「反ワクの戯言！」と「お叱返」

説得は無理

巨人の星のリズムに乗って

思ひ込んだら 義憤の道を

行くが 真の保守の道

真っ赤に燃える 嘘月仰ぎ

正義の戦端開くまで

命を守る 暮らしを守る

嘘つき通せ 無知のまま

皆で 真っ赤に燃える嘘月仰ぎ

「義憤の道」を歌ひませう！

平和勢力は 街頭演説やデモより

こんな「義憤の道」を流行らせた方が

効果があるかもしれません

しかし これは「緒戦戯言」

だから 平和の言弾

平和 〓 ロハ十ノ・一二ハ

〓 ロく十ノ・ノ二話

〓 妒くさ ・の二話

〓 妒草 ・の日八

ほっこり

のさま



「平和の言弾」 それは

「四大の砲弾」

やうやく開発できました

平和勢力の「平和の言弾」

それは「四大の砲弾」

言弾の偉力

医王 十ハエ・ニコノ

|| 二二くサ・ニワ

|| ロ 草・二話

|| 炉 草・日ハ

ほいり



のきめ



言弾の魅力

金 十しノ二ハ

|| 二二二二ノ二話

|| ロ 十十ノ二話

|| 炉 草の日ハ

ほいり



のきめ



金まで稼ぐか？
四大の言草



癌因 || 草取此炉の無い庭

山 || コ 転 |

|| 此 炉ノ

癌 || ロ ロ 山 ナロ ハ

|| 二二二二コ 転ノナ二二ハ

|| 十十トリ 此 炉ノナイ庭

|| 草 取 此 炉の無い庭



癌治 || 腰温高・聲医王

山 || コ 折・ |

|| コー・ |

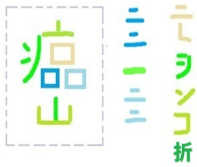
癌 || ロ ランコ 折 | ロ ロ

|| 二二温 高 二二 | 二二二

|| こし 温 高 こへ | 一三一

|| 腰 温 高 聲 一王

|| 腰 温 高 聲 医王



四大の砲弾 制作案内

小型の「四大の大砲」の場合

仕上がりサイズ 九十センチ四方

仕入れる材料

コンパネ 180×90センチ 二二五〇円

①枚数 二枚

②角材 12センチ 二本

③木ねじ 四〇〜五〇本

合計 約五千元

①は ホームセンターの機械で

綺麗に半分に切断

見本



写真の中身はくぬぎの黄葉
今、大地の「青人草」のみ

政治小説

和が国の平和国防論

党首のご挨拶

今まで平和を守る武器

それは軍事力でした

その技術と武器は 日に日に開発され

今日に至ります

ところが わが新党「草取此処」は

皆さんも 既にご存知のやうに

今までとは全く別の「大砲」

約五千元ほどで 誰もが即作れる

「四大の砲弾」を開発しました

弾丸は「鉄製」ではなく **大地の草**

ですから弾丸は 無料無尽蔵

昔は「言草」と呼んでおりましたが

私たちは勢をつけて「言弾」

さう呼んでをります

この「言弾」の威力は凄い

武闘派勢力を打ち負かすに留まらず

心身の病まで打ち負かす

そんな可能性を秘めてゐます

だから「医王」の異称も持ちます

さらに「言弾」は

貧苦をも打ち負かす威力も含有します

それは「金」といふ文字が

物語ってゐました

ですから

新党「草取此処」は

国から政党助成金をもらひません

党費は 全て地域の「草取事業」

時間単価税込八百円を資源とします

国民の皆さん！

よく聞いて下さい

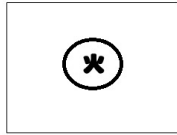
私たちの国は

文政七年（一八二四）

佐藤信淵（のぶひろ）が『混同秘策』を

世に出してから 大きく変はりました

佐藤は「禍の火種」をかう詠みました



カケマクモ畏き産霊の神

続けて かう言ひます

この天神に従はぬ者は

「天の罪人」だから「天刑」を下せ

世に言ふ「天誅」です

かうして 幕末は

首切りと暗殺の嵐となりました

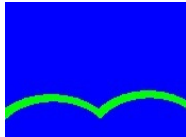
当時は 天地を動かす『詞』は

秘密語として語り継がれてゐたため

公にされてをりませんが：

以下の実体と絵体が主流でした

好望大地



好望大地



この二つの本性を秘密語としたため

尊徳は かう言ひます

「貧乏を免れんと欲せば

庭の草を取り 家屋の掃除をせよ」

しかし！

幕末の異心暴力革命は

止められませんでした

何故 止められなかったか？

その「言弾」が

「平和の武器」として

通用しなかったからです

通用すれば

幕末異心革命は起きてゐません

だったら 平和勢力は

尊徳・芭蕉・南無派が開発した言弾を

上回る「言弾」を開発すればいい

しかし 誰一人研究して来ませんでした

したがって

「平和勢力」は

「天地之詞」を教書として

「平和の言弾」を開発すればいい

それだけのことだが

誰一人開発せずに

自由嘘月党の悪事を暴く

そこだけに視点が行く

自由嘘月党の背後には

史上最強の「禍津日神」がある

人力で勝てる相手ではない

やはり

天地をも動かす「詞」を研究し

威力ある「平和の言弾」を開発すべき

しかし この開発を歩く者無し

だから かうして筆者が説いても

誰一人 耳を傾ける者がゐない

平和勢力が

「平和の言弾」の開発を怠ってゐる間

対する武闘勢力は

日々武器の開発に勤しんだ

結果 大きな差が出た

結果 世界の多くの人々が

武闘政治に憧れるやうになった

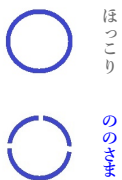
何故か？

力をも入れずして天地を動かす
そんな偉大な「詞」の開発が
遅れに遅れたからだ

しかし 間に合ふ
いや 間に合った

「四大の大砲」を源として
「昔の日の丸」を銃口にした「言弾」で
「禍の火種」を取り巻く連中を
一掃しようではありませんか

討ち方 始め！



次回は：

最終号

『偉大な詞』に続く

只今執筆中 近日公開